

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2024 年 12 月号」



「見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」

(イザヤ書 7 章 14 節)

西南学院「平和宣言文」が、創立百周年の記念に際して公表されたのはご存じでしょうか。学院が、自らの戦争責任・戦後責任を問い直したこの小さな冊子を手にした時、ともすれば未来への希望さへ失われそうな今の世の中に、ひとつの灯火が灯ったように私は感じました。

神様のひとり子が、私たちのために人の世に贈られ希望の光となりました。クリスマスは、この神様の大きく深い愛を思い、改めて感謝せずにはいられないときです。西南学院で学ぶ子どもたち自身が神様に倣う者となり希望の光として輝いてくれることを、そしてまた小さなひとつの灯火がひとつまたひとつと灯り、光が広がっていくように、西南学院から平和の灯火が消えることなく広がり続けていくことを心から願っています。



師走の町の喧噪をよそに、キャンドルサービスの優しい灯火が、次第に広がってあたたかな光の輪となっていくのを静かに見つめながら、神様の愛を思い祈りたいと思います。西南学院小学校で学ぶ子どもたちの新たな一歩が神様とともにあり、神様の望まれる歩みとなりますように。

今年度の学校生活ガイドブック 25 ページ から 28 ページに教会案内を載せています。是非ご家族でお近くの教会に足を運び、クリスマスと一緒にお祝いしていただけることを願っております。

(文責 黒木佐幸)

